

エコアクション21 環境経営レポート (2024年度)



株式会社 ISEKI Japan
九州カンパニー

対象期間：2024年1月1日～12月31日

発行日：2025年4月1日

目次

会社概要	2
事業所一覧	3
対象範囲・実施体制	5
環境経営方針	6
環境経営目標と実績	7
各事業所の目標と実績	8
環境経営計画の取組結果・評価	1 1
環境への取り組み	1 2
環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無 . . .	1 9
代表者による全体評価と見直し	2 0
S D G s	2 1
次年度の環境経営目標・計画	2 2
編集後記（巻末）	

会社概要

事業者名 株式会社ISEKI Japan 九州カンパニー
代表者 社長 中谷 清
本社所在地 熊本県上益城郡益城町平田2550番地
事業内容 農業用機械器具の販売・修理・使用技術の指導、
(認証・登録範囲) 農業資材の販売、コイン精米の経営、
民間車検業務
従業員数 461名（2025年1月1日現在）

環境関連の責任者および担当者連絡先

株式会社ISEKI Japan 九州カンパニー 本社

〒861-2212

熊本県上益城郡益城町平田2550番地

TEL：096-286-0303

FAX：096-286-0309

環境管理責任者 管理部次長 田中 貴治

環境管理担当者 管理部総務グループ長 水野 譲二

環境管理担当者 管理部総務グループ 河辺 涼太

環境管理担当者 管理部総務グループ 村上 道志

U R L <https://www.iseki-japan.co.jp/>

事業所一覧

No.	拠 店	T E L	所在地	認証 対象
1	本 社	096-286-0303	熊本県上益城郡益城町平田2550	レ
	九州アグリサポートセンター	096-286-0710		
2	福岡事務所	0946-42-1401	福岡県朝倉郡筑前町中牟田1175-2	レ
	筑紫営業所	0946-42-4692		
	福岡整備センター	0946-42-1401		
3	宮田営業所	0949-32-1260	福岡県宮若市本城451-1	レ
4	筑豊営業所	0948-42-0795	福岡県嘉麻市山野639-3	レ
	福岡北部整備センター	0948-42-0795		
5	糸島営業所	092-331-0020	福岡県糸島市末永439-11	レ
6	甘木営業所	0946-22-3542	福岡県朝倉市牛木688	レ
7	吉井営業所	0943-75-2583	福岡県うきは市吉井町681-1	レ
8	小郡営業所	0942-72-3673	福岡県小郡市福童365-3	レ
9	大刀洗営業所	0942-77-0050	福岡県三井郡大刀洗町大字本郷1997-1	レ
10	南筑営業所	0944-63-7799	福岡県柳川市三橋町五拾町186	レ
11	佐賀営業所	0952-29-5517	佐賀県佐賀市兵庫町大字若宮223-6	レ
12	長崎事務所	0957-22-2320	長崎県諫早市小野島町2236	レ
	長崎県央営業所	0957-23-1147		
	長崎整備センター	0957-22-2320		
13	長崎北営業所	0956-65-2062	長崎県佐世保市江迎町赤坂221	レ
14	雲仙出張所	0957-78-3997	長崎県雲仙市国見町神代己320-2	レ
15	熊本事務所	096-286-0333	熊本県上益城郡益城町安永1400	レ
	熊本整備センター	096-286-0011		
	熊本中央営業所	096-286-2016		
16	玉名営業所	0968-72-5171	熊本県玉名市小野尻字川丁561	レ
17	山鹿営業所	0968-43-2252	熊本県山鹿市新町406	レ
18	菊池営業所	0968-25-2151	熊本県菊池市野間口546-1	レ
19	熊本北営業所	096-242-3837	熊本県合志市合生3829	レ
20	阿蘇営業所	0967-22-0054	熊本県阿蘇市一の宮町宮地3365-4	レ
21	小国営業所	0967-46-4415	熊本県阿蘇郡小国町宮原1849-1	レ
22	高森営業所	09676-2-0155	熊本県阿蘇郡高森町高森1404-6	レ
23	大津営業所	096-293-3181	熊本県菊池郡大津町大字町414-1	レ
24	宇城営業所	0964-22-0310	熊本県宇土市松山町4403	レ
25	鏡営業所	0965-52-0045	熊本県八代市鏡町内田237	レ
26	球磨営業所	0966-45-4838	熊本県球磨郡あさぎり町上西127-1	レ
27	人吉営業所	0966-22-3068	熊本県人吉市瓦屋町1635-1	レ
28	天草整備センター	0969-24-1163	熊本県天草市亀場町食場979-3	レ

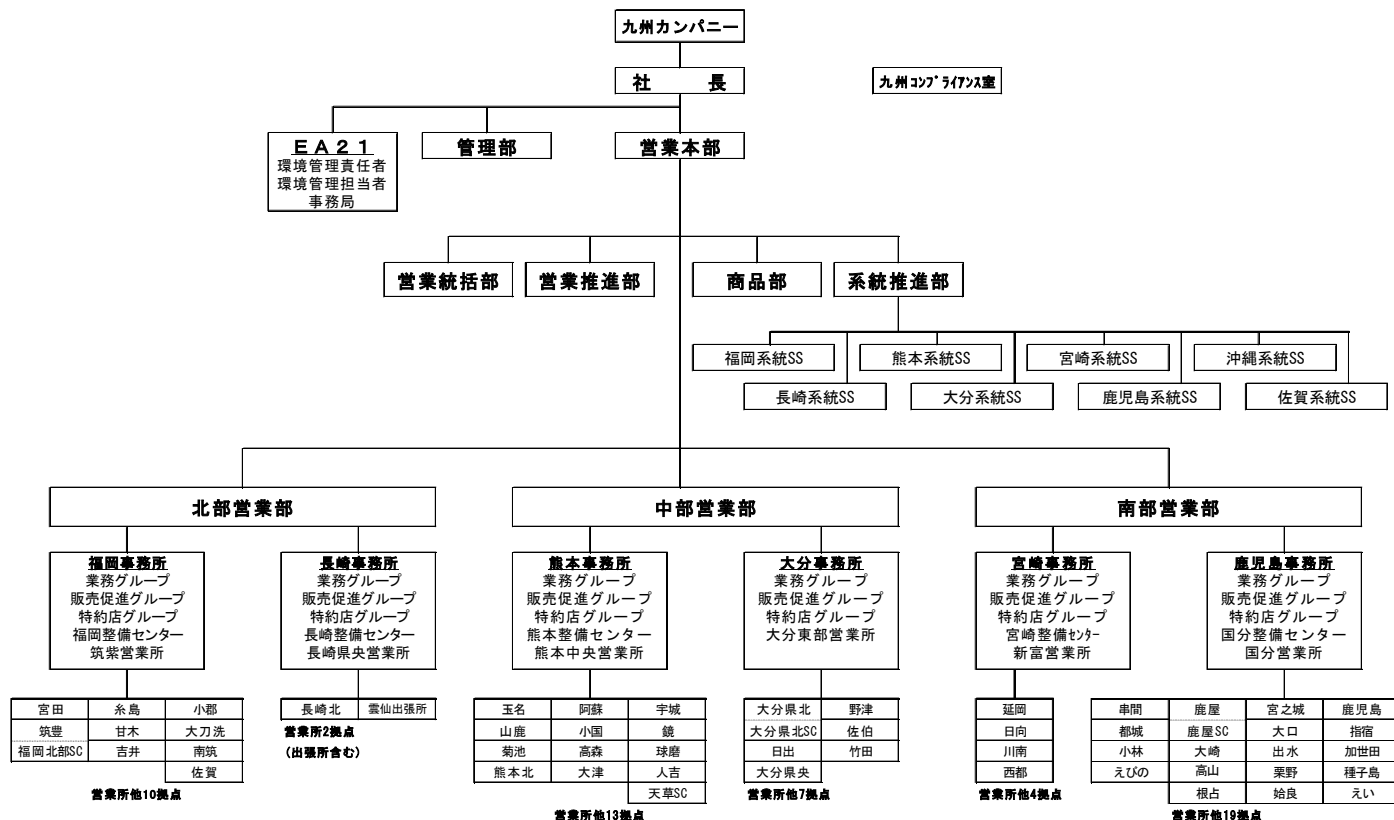
事業所一覧

No.	拠店	T E L	所在地	認証 対象
29	大分事務所	097-529-7639	大分県大分市屋山547	レ
	大分東部営業所	097-593-0340		
30	大分県北営業所	0978-34-7020	大分県宇佐市大字北宇佐2187-1	レ
	大分県北整備センター	0978-34-7033		レ
31	日出営業所	0977-72-5656	大分県速見郡日出町藤原1650	レ
32	大分県央営業所	097-582-3088	大分県由布市庄内町大龍2400-5	レ
33	野津営業所	0974-32-2591	大分県臼杵市野津町大字宮原3837	レ
34	佐伯営業所	0972-22-0536	大分県佐伯市池田1296-1	レ
35	竹田営業所	0974-63-1311	大分県竹田市拝田原499	レ
36	宮崎事務所	0983-33-0988	宮崎県児湯郡新富町上富田3210-1	レ
	新富営業所	0983-33-4498		
	宮崎整備センター	0983-33-0988		
37	延岡営業所	0982-33-2895	宮崎県延岡市恒富4丁目189	レ
38	日向営業所	0982-53-0420	宮崎県日向市塩見996-1	レ
39	川南営業所	0983-27-0243	宮崎県児湯郡川南町川南17698-1	レ
40	西都営業所	0983-43-1662	宮崎県西都市岡富1008-6	レ
41	串間営業所	0987-72-0605	宮崎県串間市南方131-2	レ
42	都城営業所	0986-57-1847	宮崎県都城市平塚町4842-1	レ
43	小林営業所	0984-22-2477	宮崎県小林市細野西之川285-1	レ
44	えびの営業所	0984-33-0153	宮崎県えびの市原田2549-1	レ
45	鹿児島事務所	0995-45-1911	鹿児島県霧島市国分広瀬1628-1	レ
	国分営業所	0995-45-0273		
	国分整備センター	0995-45-1911		
46	鹿屋営業所	0994-42-5161	鹿児島県鹿屋市笠之原町1788-6	レ
	鹿屋整備センター	0994-43-3012		
47	大崎営業所	099-476-0140	鹿児島県曾於郡大崎町假宿552	レ
48	高山営業所	0994-65-2019	鹿児島県肝属郡肝付町新富578-8	レ
49	根占営業所	09942-4-2662	鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南599-1	レ
50	宮之城営業所	0996-53-0447	鹿児島県薩摩郡さつま町柏原2742-4	レ
51	大口営業所	0995-22-1304	鹿児島県伊佐市大口原田14-1	レ
52	出水営業所	0996-62-0414	鹿児島県出水市上知識町1024	レ
53	栗野営業所	0995-74-4456	鹿児島県始良郡湧水町米永1908-4	レ
54	指宿営業所	0993-22-3612	鹿児島県指宿市十二町409-2	レ
55	加世田営業所	0993-77-2893	鹿児島県南さつま市金峰町宮崎2841-4	レ
56	始良営業所	0995-66-2565	鹿児島県始良市西餅田1178	レ
57	種子島営業所	09972-7-9833	鹿児島県熊毛郡中種子町坂井2181-175	レ
58	えい営業所	0993-36-2611	鹿児島県南九州市頴娃町牧之内8820-3	レ
59	鹿児島営業所	099-298-2625	鹿児島県鹿児島市有屋田町606	レ
60	佐賀系統SS	0952-36-7777	佐賀県佐賀市開成4丁目3-12	レ
61	沖縄系統SS	—	沖縄県島尻郡与那原町字上与那原439(株)くみき内	レ

※系統事務所・系統SSは各事務所の従業員数に含める

対象範囲・実施体制

下図はISEKI Japan 九州カンパニーの「組織図」であると共に、
認証・登録範囲について表しています。



担当者	主な役割・責任
代表者 (カンパニー社長)	エコアクション21環境経営システムの統括 経営における課題とチャンス进行明確にする 環境経営方針・環境目標・環境計画等についての承認 取り組み全体の評価と見直しの実施および指示
環境管理責任者	全社の環境統括者 環境経営システムの全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 エコアクション21業務全般の取りまとめ
環境管理担当者 (事務局)	環境経営における事務局担当者、環境関連法規の取りまとめ 各種環境データの取りまとめ、環境経営方針・環境目標・環境計画の立案 環境活動に関わる情報発信、環境経営レポートの作成・報告
EA21推進者 (部長・エリアマネージャー)	管轄内（営業部・営業所・整備センター）の環境統括者
所属長・グループ長	各現地における環境経営に基づく目標・計画の推進 緊急事態への対応訓練実施および報告 環境関連の記録と事務局への報告、(一般・産業)廃棄物の管理および報告
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境経営方針

環境基本理念

当社は「お客様に喜ばれる製品・サービスの提供」を通じて、持続可能な社会の実現を目指すべく、自然・社会・企業の調和に貢献する環境活動を推進します。

そして2050年までにカーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を目指します。

環境基本方針

①継続的改善

環境マネジメントシステムの整備と機能的運用により環境経営の継続的な改善を実践します。

②環境に配慮した事業活動

カーボンニュートラルを実現する事業活動および製品サービスの普及を推進します。

③コンプライアンス

環境関連法規および社内規定・ルール等の自主基準を遵守します。

④環境教育と環境情報公開

すべての従業員が環境意識を持ち、社会へ貢献できるよう教育・啓発を行うとともに、環境関連情報を広く公開し社内外とのコミュニケーションを図ります。

株式会社ISEKI Japan 九州カンパニー
社長 中谷 清

制定日：平成17年9月30日

改定日：令和2年3月31日

改定日：令和5年3月31日

改定日：令和7年3月31日

環境経営目標と実績

環境経営目標（九州カンパニー全体）

2023年度実績を基準として、2024年度は1%削減、2025年度は2%削減、2026年度は3%削減とする。

（新設・統廃合した事業所分は調整済み）

項目	単位	2023年度 (実績/基準)	2024年度目標 (1%削減)	2025年度目標 (2%削減)	2026年度目標 (3%削減)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,269,138	2,246,447	2,223,756	2,201,064
電力使用量	kWh	860,435	851,831	843,226	834,622
ガソリン使用量	L	487,437	482,562	477,688	472,814
軽油使用量	L	275,794	273,036	270,278	267,520
灯油使用量	L	5,755	5,698	5,640	5,583
LPガス使用量	kg	1,233	1,221	1,209	1,196
一般廃棄物	kg	44,245	43,803	43,360	42,918
産業廃棄物	t	919	910	901	892
水使用量	m ³	7,653	7,576	7,500	7,423
環境配慮製品の販売(CHCNAV)	台	155	300	経営計画による	経営計画による
環境配慮製品の販売(アイモロト)	台	13	15	経営計画による	経営計画による

※電力のCO₂排出係数は、環境省 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)

2024年度実績の調整後排出係数「0.475 kg-CO₂/kWh(九州電力)」を使用。

環境経営実績（九州カンパニー全体）

【基準】○：100%以上、△：80%以上～100%未満、×：80%未満

項目	単位	2023年度 (基準)	2024年度 目標	2024年度 実績	対目標(基準のマイナス1%)			
					差異	達成率	判定	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,269,138	2,246,447	2,155,929	-90,518	104%	○	目標達成
電力使用量	kWh	860,435	851,831	770,560	-81,271	111%	○	目標達成
ガソリン使用量	L	487,437	482,562	463,298	-19,265	104%	○	目標達成
軽油使用量	L	275,794	273,036	271,236	-1,799	101%	○	目標達成
灯油使用量	L	5,755	5,698	4,832	-866	118%	○	目標達成
LPガス使用量	kg	1,233	1,221	1,080	-140	113%	○	目標達成
一般廃棄物	kg	44,245	43,803	47,327	3,524	93%	△	未達成
産業廃棄物	t	919	910	762	-148	119%	○	目標達成
水使用量	m ³	7,653	7,576	8,041	465	94%	△	未達成
環境配慮製品の販売(CHCNAV)	台	155	300	177	-123	59%	×	未達成
環境配慮製品の販売(アイモロト)	台	13	15	43	28	287%	○	目標達成

※電力のCO₂排出係数は、環境省 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)

2024年度実績の調整後排出係数「0.475 kg-CO₂/kWh(九州電力)」を使用。

各事業所の目標と実績①

主要CO₂排出3項目 電気(kw)・ガソリン(ℓ)・軽油(ℓ)

福岡事務所管内

福岡事務所（筑紫・福岡整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	40,319	29,081	72%
ガソリン	25,710	26,786	104%
軽油	23,134	21,402	92%

宮田

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	16,358	16,131	98%
ガソリン	7,432	7,861	106%
軽油	1,994	2,045	103%

筑豊（福岡県北整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	11,755	11,047	94%
ガソリン	3,422	3,339	98%
軽油	2,959	2,603	88%

糸島

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	12,752	15,141	119%
ガソリン	8,655	4,817	56%
軽油	1,701	1,442	85%

甘木

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	19,918	21,987	110%
ガソリン	5,072	4,915	97%
軽油	1,939	1,767	91%

吉井

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	11,843	13,174	111%
ガソリン	6,851	6,328	92%
軽油	1,074	1,214	113%

小郡

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,242	9,257	112%
ガソリン	4,527	4,740	105%
軽油	1,351	1,298	96%

大刀洗

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	15,732	15,455	98%
ガソリン	4,083	4,345	106%
軽油	1,027	1,142	111%

南筑

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,942	9,309	117%
ガソリン	6,128	4,949	81%
軽油	1,959	1,738	89%

佐賀

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	12,195	13,283	109%
ガソリン	5,337	5,271	99%
軽油	184	2,012	109%

佐賀系統SS

佐賀系統SS

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,446	9,595	102%
ガソリン	9,515	9,322	98%
軽油	6,324	6,142	97%

長崎事務所管内

長崎事務所（長崎県央・長崎整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	27,335	21,132	77%
ガソリン	21,589	21,008	97%
軽油	10,924	10,556	97%

長崎北

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,304	8,337	132%
ガソリン	5,384	5,940	110%
軽油	1,963	2,103	107%

※雲仙出張所含む

熊本事務所管内

熊本事務所（熊本整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	---	---	---
ガソリン	22,131	23,393	106%
軽油	27,597	22,876	83%

玉名

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,055	7,945	112%
ガソリン	5,514	4,782	87%
軽油	1,444	1,549	107%

山鹿

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,684	8,637	89%
ガソリン	5,716	5,828	102%
軽油	1,481	1,577	107%

菊池

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,376	7,916	107%
ガソリン	5,644	5,168	92%
軽油	1,166	956	82%

熊本北

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	11,204	10,839	97%
ガソリン	7,065	6,026	85%
軽油	1,628	1,278	78%

阿蘇

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	13,735	12,996	95%
ガソリン	5,347	3,070	57%
軽油	1,448	1,168	81%

小国

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,490	6,560	101%
ガソリン	4,939	5,156	104%
軽油	3,082	2,900	94%

高森

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,043	6,069	101%
ガソリン	6,359	5,842	92%
軽油	2,327	2,442	105%

大津

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	18,477	16,640	90%
ガソリン	9,769	10,234	105%
軽油	2,372	2,256	95%

各事業所の目標と実績②

主要CO₂排出 3 項目 電気(kw)・ガソリン(ℓ)・軽油(ℓ)

熊本中央

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	---	---	---
ガソリン	7,364	5,593	76%
軽油	1,889	1,500	79%

天草

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,086	5,354	105%
ガソリン	2,209	2,250	102%
軽油	1,330	1,259	95%

宇城

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,878	7,050	102%
ガソリン	6,975	6,683	96%
軽油	2,186	1,787	82%

球磨

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,169	7,641	107%
ガソリン	5,846	5,997	103%
軽油	2,188	1,766	81%

鏡

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,531	8,774	103%
ガソリン	5,334	4,268	80%
軽油	1,209	1,095	91%

人吉

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,600	6,044	92%
ガソリン	3,904	4,055	104%
軽油	1,896	1,774	93%

本社

本社

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	163,662	136,017	83%
ガソリン	41,903	30,426	73%
軽油	42,830	42,595	100%

大分事務所管内

大分事務所（大分東部営業所）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	34,462	21,957	64%
ガソリン	19,092	15,382	81%
軽油	11,255	10,170	90%

大分県北（大分県北整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	28,338	21,759	77%
ガソリン	16,831	16,377	97%
軽油	7,197	8,849	123%

日出

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	11,128	10,683	96%
ガソリン	2,836	2,896	102%
軽油	1,576	1,711	109%

大分県央

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	4,485	5,493	122%
ガソリン	6,193	6,838	110%
軽油	2,019	1,989	99%

野津

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,296	5,875	111%
ガソリン	6,668	6,822	102%
軽油	1,646	1,509	92%

佐伯

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,827	5,592	96%
ガソリン	3,671	3,921	107%
軽油	1,815	1,824	101%

竹田

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,592	7,045	93%
ガソリン	8,503	9,977	117%
軽油	3,071	3,176	103%

宮崎事務所管内

宮崎事務所（新富・宮崎整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	36,321	22,026	61%
ガソリン	13,274	16,432	124%
軽油	16,855	15,095	89%

延岡

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,533	6,368	98%
ガソリン	5,431	5,203	96%
軽油	2,017	2,173	108%

日向

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	12,083	11,080	92%
ガソリン	3,860	3,109	80%
軽油	1,140	889	78%

川南

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	12,473	13,916	112%
ガソリン	6,676	6,424	96%
軽油	2,121	2,285	108%

西都

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	13,561	11,556	85%
ガソリン	5,638	6,014	107%
軽油	2,672	2,630	99%

各事業所の目標と実績③

主要CO₂排出3項目 電気(kw)・ガソリン(ℓ)・軽油(ℓ)

鹿児島事務所管内

鹿児島事務所 (国分・国分整備センター)

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	41,188	43,506	94%
ガソリン	31,340	24,805	126%
軽油	38,292	43,201	88%

小林

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,064	8,414	95%
ガソリン	6,453	6,678	96%
軽油	6,453	6,678	96%

大崎

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,946	11,925	83%
ガソリン	8,129	8,394	96%
軽油	2,313	2,224	103%

宮之城

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,888	6,932	84%
ガソリン	5,476	5,278	103%
軽油	1,532	1,721	88%

栗野

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,485	7,047	106%
ガソリン	5,420	5,542	97%
軽油	1,393	1,546	90%

始良

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,317	10,094	102%
ガソリン	3,772	4,391	85%
軽油	1,130	1,550	72%

鹿児島

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,836	7,164	81%
ガソリン	7,411	7,664	96%
軽油	1,669	1,502	111%

串間

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	3,415	3,648	93%
ガソリン	1,933	1,671	115%
軽油	810	696	116%

えびの

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	4,202	4,325	97%
ガソリン	2,022	2,207	91%
軽油	1,039	1,119	92%

高山

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	2,922	2,862	102%
ガソリン	4,112	4,241	96%
軽油	1,173	949	123%

大口

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,630	10,184	104%
ガソリン	4,445	4,880	91%
軽油	1,219	1,294	94%

指宿

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,567	9,073	94%
ガソリン	4,933	4,676	105%
軽油	1,800	1,831	98%

種子島

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	11,534	9,950	115%
ガソリン	5,175	3,452	149%
軽油	2,442	2,542	96%

鹿屋SC

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	3,119	2,998	104%
ガソリン	1,033	1,191	86%
軽油	0	20	0%

都城

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,834	11,134	79%
ガソリン	4,948	6,355	77%
軽油	2,432	3,000	81%

鹿屋

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,206	9,732	94%
ガソリン	5,276	3,385	155%
軽油	1,711	1,541	111%

根占

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,352	6,932	91%
ガソリン	5,228	7,998	65%
軽油	1,400	1,274	109%

出水

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,848	5,916	98%
ガソリン	6,343	6,061	104%
軽油	2,830	2,480	114%

加世田

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,784	9,412	93%
ガソリン	7,035	6,905	101%
軽油	1,568	1,336	117%

頤娃

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	4,812	4,551	105%
ガソリン	4,969	4,870	102%
軽油	999	1,060	94%

環境経営計画の取組結果・評価

【基準】○：できている、△：できているが改善の余地あり、×：できていない

項目		計画	評価	取組結果
CO ₂ 排出量の削減	電力	エアコン設定温度の表示	○	会社全体として電気使用量削減によるCO ₂ 削減は達成。 各事業所、使用していない照明のこまめな消灯およびエアコンの設定温度の遵守に取り組んだ。
		クールビズ・ウォームビズによるエアコン使用期間削減	○	
		照明の使用時以外の消灯	○	
		昼休みの消灯	○	
		ブラインド・カーテンの効率的な活用	○	
	ガソリン	アイドリングストップの励行	○	エコドライブを実践し、ガソリン・軽油ともに使用量削減達成。 使用者のエコドライブへの意識付けを継続する。
		社用車に不要な荷物を乗せない	○	
		同一目的地への相乗り乗車	○	
	ガス・灯油	クールビズ・ウォームビズで灯油の使用を控える	○	ウォームビズ(重ね着)等により灯油使用量を抑制し、目標達成。LPガスの使用量も給湯器使用抑制し、目標達成。
		給湯使用時は、極力お湯を溜めて使用	○	
廃棄物	一般廃棄物	各自治体・地域にあった適切な方法で排出	○	排出方法・分別は適正に行われている。 一般廃棄物については、拠点の移転、統合の影響もあり増加。
		極力リサイクルされるように分別	○	
		廃棄物量の削減に努める	△	
	産業廃棄物	廃棄物置場の適切な表示と分別	○	表示と分別は正しく行われており、指定業者への回収依頼により適正に排出している。 引き続き適性な処分を実施。
		マニフェスト管理と適正な分別収集	○	
		定期的（3ヶ月以内）な計画排出の維持	○	
水	排出	水道蛇口付近に節水表示にて注意喚起	○	ひとり1人の節水意識の心がけにより水の使用量は削減できている。
		農業機械を預かる際は現場で土・泥を極力落とし洗車時の水使用を控える	○	
CHCNAV アイガモロボの普及推進		市場への認知度を高め、需要客への積極的なアプローチによる普及推進	○	「CHCNAV」は販売目標台数未達。 「アイガモロボ」は、大きく目標を上回り、着実に前進しているため、実演・情報提供の更なる強化を図ります。
		大規模農家を中心に実演を強化	○	
		情報提供の拡大（WEBの活用等）	○	

環境への取り組み①（全体）

教育・訓練の実施

- ・ 環境責任者・推進者クラスの
エコアクション21研修会
- ・ 各事業所からの環境に関する質疑応答
（事業所訪問時・随時）
- ・ エコアクション21事務局への教育・
打ち合せ（随時）



環境コミュニケーションの実施

- ・ 内部統制会議（月1回実施）
 - ・ 安全衛生委員会（月1回実施）
 - ・ 朝礼コンプラ（毎週実施）
 - ・ その他、各種会議
- ※できる限りWEB会議を活用し、
移動のガソリン・時間を削減。
- ・ 朝礼・回覧・社内LANの活用で
環境への取り組みや啓発。



展示会の開催

- ・ 環境配慮製品の展示
製品の普及による環境活動。
- ・ CHCNAV
後付け自動操舵のため、安価に
省人化・省力化・効率化に貢献。
- ・ アイガモロボ
省人化・省力化だけでなく、
使用する農薬の削減に貢献。

展示会通して、環境に配慮した製品の
普及拡大を進めています。



環境への取り組み②（各事業場での活動）

エアコン

冷房28度・暖房22度の設定を基本として、設定温度を抑制することにより電気使用量を削減。



照明

来客時以外の展示場照明の消灯。
使用時以外や昼休み等は、こまめに消灯し電気使用量の削減。
事業所ごとに順次LED化を推進し、職場環境の向上を推進。



節水

掲示物による啓発。
水道の出しっぱなしの抑制。
水使用量の情報提供による環境意識の向上。



ペーパーレス

ミспrint裏紙の使用による抑制。
各種書類のデータ保管の推奨・推進。
工数削減の効果にも寄与します。



運転

エコドライブの指導・実践。
効率的な営業ルート(方面・訪問順)の組み立てにより走行距離を抑制して、ガソリン消費量の削減。
工数削減の効果にも寄与します。



環境への取り組み③（提案）

アイガモロボの推進

アイガモロボは水田内を自動で動き、スクリューで水を濁らせることで、除草剤を使わずに雑草が生えにくい状態をつくり、有機栽培における除草の手間を削減します。

また、ソーラーパネルを搭載しており、クリーンな太陽光エネルギーを使用し自家発電で動作するため、環境へ配慮した商品となります。

アイガモロボ投入後、自動で稼働するため、手間を省くことができ、農業従事者の作業負担の軽減に貢献します。



CHCNAV(後付け自動操舵)の推進

農機オペレータ不足という課題に対し、CHCNAV自動操舵機器の推進により、非熟練者であっても、農機の操作ができるため、経験の浅い農業従事者など多様な人材の活躍に繋げることができます。

メーカー問わず、既存のトラクターに後付けする機器のため、新規に農機を購入する必要がなく、経済的負担も少なく導入することができます。

また、自動操舵により、同じ精度、同じ時間で作業できるため、農作業の効率化、労働時間を削減するだけでなく、無駄な稼働を抑制し、ガソリン使用量の低減に繋がります。



環境への取り組み④（提案）

スマート農業製品の普及推進

ロボットトラクター・直進アシストなど、ICT技術を活用した農業機械製品の普及・推進により、農業従事者の省力化・時間短縮・業務効率の向上によって大局的な観点からも環境への配慮の一助に繋がります。



マルチローター農薬散布の推進

従来の噴霧器による農薬散布と比較し、大幅な省力化及び農薬使用量の削減に寄与します。

＜期待される効果＞

作業時間：5～8時間 → 20～30分

農薬使用量：15～20％削減



疎植栽培の推進

坪あたりの植え付け株数を従来より減らして栽培する方法。

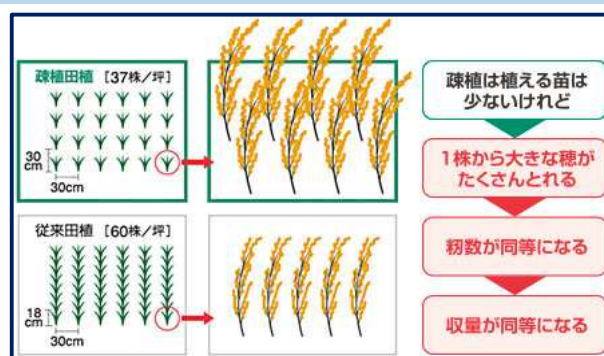
生産者の省力化・低コスト化に貢献！

＜生産者も労働時間削減＞

労働時間が短縮されることにより、省エネおよび燃費向上に繋がります。

＜育苗コストの削減＞

省資源で農薬使用量も削減され、環境維持にも貢献します。



環境への取り組み⑤（ツール）

タブレット端末の活用

業務効率化の一環として、すべての営業職・幹部にタブレット端末を支給。

【効果】

- ・ 外出先からパソコン同様の情報取得が可能になり業務時間が軽減（時間外労働の抑制）
- ・ 社内ネットワークにもアクセス可能になり、一時帰社の必要性が減少し移動効率が改善またガソリン消費も抑制されます。
- ・ 製品・部品等、各種リストのペーパーレス
- ・ 紙出力した顧客情報リスト等の個人情報漏洩リスクの軽減。



独自ネットワーク

【i-Magazine（アイ-マガジン）】

タブレット端末やスマートフォンの活用にあたり、オリジナルアプリ『i-Magazine』を開発・導入

- ・ 顧客情報・製品・部品・中古品在庫など情報取得が可能になり業務効率が向上
- ・ 従来、紙出力して携行していた各種リストのペーパーレスに繋がります。



【グループウェア】

外出先からでもグループウェアへのアクセスが可能になり、社内共有情報や連絡などがタイムリーに確認できるようになりました
同じくペーパーレス・ガソリン使用量の軽減に繋がります。



環境への取り組み⑥（グループ）

技術開発

【井関農機の認められた確かな技術】

九州カンパニー社員一同は、販売会社としての仕事を通じ日々農家の方々の立場になり、真摯な対話をしています。

その中から、より良い仕様や新製品につながるようなヒントをメーカーである井関農機へフィードバックしており、それが結果的に新製品の開発、発明及び特許へと結びついています。

今後も省エネ農業機械（低燃費・多機能・高効率）等の環境配慮製品を重点的に販売するとともに、より良い製品づくりを通じて日本の農業・地域環境づくりに寄与して参ります。



1. 特許査定率と順位

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
特許査定率(%)	91.8	94.7	97.0	99.2	97.5	100.0	98.1	96.4	97.7	98.7	97.2	94.6
全産業中 順位	2 位	6 年連続 1 位						2 位	3 年連続 1 位			3 位

※特許査定率＝特許査定件数/(特許査定件数＋拒絶査定件数＋取下・放棄件数)

2. 分野別登録(公開)数順位

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
分野	その他の特殊機械											
順位	8 年連続 1 位					2 年連続 1 位		2 位	1 位	3 年連続 2 位		

※特許行政年次報告書2018年度版では、従来の「分野別公開数」から「分野別登録数」に公表内容が変更されております。

出展：特許行政年次報告書2012年度版～2023年度版に基づく

COOL CHOICE

環境省が掲げる『COOL CHOICE』の取り組みに、キセキグループとして賛同しており、エコアクション21の取り組みと紐づけて活動しています。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取り組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。



環境への取り組み⑦

教育

主にスマート農業や食育について、農業高校を中心に多くの教育機関に対して出張講義・体験学習を開催！

【2024年】

熊本県立熊本農業高校

2月20日 スマート農業

3月13日 アイガモロボ

熊本県立南陵高校

6月 8日 田植え

9月27日 稲刈り

12月16日 自動均平作業

熊本県立八代農業高校

10月28日 スマート農業

熊本県立天草拓心高校

11月26日 スマート農業



電気使用量の『見える化』（本社）

エアコン・照明スイッチの隣に電気保安機器を設置して、電気使用量の『見える化』を実施したことにより、啓発効果と一人一人の意識向上に繋がりました。

前年実績に基づき目標数値を設定して、数値を超えると警告音が鳴るようにして更に節電効果も向上しました。



●季節に合わせて
目標設定を調整

環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守評価

(遵守 : ○ 対象外 : -)

	環境関連法規名	主な要求事項	対象	本社	北部	中部	南部	佐賀系統
1	消防法	消火器の設置	全拠点	○	○	○	○	○
2	廃棄物処理法	適正な処理、産廃置場の表示	全拠点	○	○	○	○	○
		委託収集業者の許可証確認	本社のみ	○	-	-	-	-
		マニフェストの保管義務(保管期限5年)	本社のみ	○	-	-	-	-
		マニフェストの交付等状況報告(毎年6月)	本社のみ	○	-	-	-	-
3	毒劇物取締法	販売業者の県への登録	各県事務所	○	○	○	○	-
		毒劇物取扱責任者の選任、県への届出	各県事務所	○	○	○	○	-
		盗難防止、紛失防止	選任拠点	○	○	○	○	-
		貯蔵場所の表示	選任拠点	○	○	○	○	-
4	農薬取締法 肥料取締法	販売届出	各県事務所	○	○	○	○	-
		適正管理	全拠点	○	○	○	○	-
5	浄化槽法	浄化槽の保守点検・清掃の義務 年1回の法定点検の実施義務	浄化槽 設置拠点	-	○	○	○	-
6	下水道法	排水基準の遵守、事故時の届出	下水道 使用拠点	○	○	○	○	○
7	PRTR法	第1種指定化学物質の排出・移動量の届出	全拠点	○	○	○	○	○
8	騒音規制法	規制基準内の遵守 (騒音で近隣から苦情がきていないか)	全拠点	○	○	○	○	○
		騒音規制条例の遵守 届出等	全拠点	○	-	○	○	-
9	家電リサイクル法	不用となったTV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンは、 家電リサイクル券を購入し業者へ引き渡す	全拠点	○	○	○	○	○
10	パソコンリサイクル法	不用となったパソコンはメーカーに引き渡す (各拠点は本社へ引き渡し、管理部が一括で業者へ引き渡し)	全拠点	○	○	○	○	○
11	自動車リサイクル法	使用済みとなった自動車を引取り業者に 引き渡す	全拠点	○	○	○	○	○
12	フロン排出抑制法	エアコン等の簡易点検実施(3ヶ月に1回) 及び記録保管、廃棄時の適正処理	全拠点	○	○	○	○	○
13	地下水保全条例	熊本県への設備設置の届出、報告(毎年4月)	本社のみ	○	-	-	-	-

環境関連法規等の遵守評価

2025年4月15日に遵守状況の確認をした結果、遵守違反はありませんでした。
関係当局からの違反などの指摘、訴訟、及び環境関連の苦情はありません。

代表者による全体評価と見直し

社長への報告事項	社長の全体評価と見直しにおける指示事項
環境経営目標の達成と進捗状況（当該記録参照） ・CO₂排出量の目標は達成しました。 主要CO₂排出3項目(電気・ガソリン・軽油)全てにおいて使用量抑制の目標を達成できました。 ・全社員の意識向上による取り組み成果ではありますが、事業所の統合・閉鎖や人員減少による影響も大きいと考えられます。	・更なる積極的な活動と業務改善により事業の成長と環境配慮の両立を図り、健全な環境経営を実現すること。 ・エネルギー使用量が増加したとしても、その増加率以上の成果(収益)となる取り組みを実践し、会社の成長へと繋げていくこと。
環境経営計画の実施及び運用結果（当文書参照） ・全社展開12年目となり、各事業所においてペーパーレス・節水・エアコン温度設定抑制などは、全社員が積極的に日々取り組んでいます。 ・一般廃棄物が増加しましたが、事業所の移転・統合等による一時的なものだと考えられます。 ・環境配慮製品の「環境」「食」に関わる重要性の意識向上を図り社会的意義をもって販売活動を実践します。	・地域N o.1 拠点を目指した活動の中で、好事例がある事業所の取り組みは、積極的に水平展開して全事業所のレベルアップに繋げていくこと。 ・環境配慮製品の推進については、当社の業績向上がそのまま環境の改善や維持へと直結する重要性を再認識し、誇りをもって推進活動に邁進すること。
環境関連法規等の遵守状況・内部監査（当文書参照） ・遵守自己チェックの結果は問題ありませんでした。 更に内部監査を充実させて、チェック機能を強化していきます。	・環境内部監査は、業務監理室(現:九州コンプライアンス室)および各営業部と連携を取りながら充実を図り、PDCAを回すこと。
外部からの環境に関する苦情・要望等 ・特にありませんでした。	・環境に関する苦情は無いとしても、商品・サービスへの苦情・要望等へ迅速・的確に対応し顧客満足の向上に努めること。
環境経営方針、環境経営目標、活動計画、環境経営システム ・産業廃棄物排出量は、2024年度より数値目標を設定しました。2024年度は目標達成となりましたが、営業成績に比例するため、これからも実績の注視を継続します。 ・『CHCNAV』『アイガモロボ』の普及推進を目標に取り入れ、両製品ともに着実に伸びる手応えもありました。 実演、状況提供の更なる強化を図ります。	・キセキグループ全体として環境経営およびCO₂削減には注力しており、できる限り数値化し具体的な活動を指示し、全社員が共有意識を持って取り組むこと。 ・『CHCNAV』『アイガモロボ』等の環境配慮製品については実演による提案の強化を図り、更なる普及を推進すること。
その他、運用上の問題点 ・特にありません。	
実施体制 ・環境管理責任者・環境管理担当で推進しています。 本社各部門及び各支社の支援活動と、各事業所の環境推進者による日常的な推進を維持しています。	・今後も環境活動の必要性和意義を、全社員が常に意識し営業活動に生かすことにより、生産性の向上に努めること。

持続可能な開発目標 SDGs：Sustainable Development Goals

SDGsとは先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。（2015年9月に国連で採択されました）

貧困や飢餓、水の保全、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール（目標）とそれぞれの下に具体的な169項目のターゲット（達成基準）があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



ISEKI Japanでは、これまで継続して取り組んできたエコアクション21に関わる環境活動を取り入れて、SDGsの活動にも取り組んでまいります。

次年度の環境経営目標・計画

2024年度実績を基準として、2025年度は1%削減、2026年度は2%削減、2027年度は3%削減とする。

(新設・統廃合した事業所分は調整済み)

項目	単位	2024年度 (実績/基準)	2025年度目標 (1%削減)	2026年度目標 (2%削減)	2027年度目標 (3%削減)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,155,929	2,134,369	2,112,810	2,091,251
電力使用量	kWh	770,560	762,854	755,149	747,443
ガソリン使用量	L	463,298	458,665	454,032	449,399
軽油使用量	L	271,236	268,524	265,812	263,099
灯油使用量	L	4,832	4,783	4,735	4,687
LPガス使用量	kg	1,080	1,070	1,059	1,048
一般廃棄物	kg	47,327	46,854	46,380	45,907
産業廃棄物	t	762	755	747	740
水使用量	m ³	8,041	7,961	7,880	7,800
環境配慮製品の販売(ChCNAV)	台	177	経営計画による	経営計画による	経営計画による
環境配慮製品の販売(アイガモポ)	台	43	経営計画による	経営計画による	経営計画による

【事業所の増減分を調整して目標設定】

※電力のCO₂排出係数は、環境省 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)

2024年度実績の調整後排出係数「0.475 kg-CO₂/kWh(九州電力)」を使用し、実績算出、目標を設定。

※環境配慮製品の目標は、毎年の経営計画にて策定します。

項目	2025年度 計画
CO ₂ 排出削減	電力 エアコン設定温度の表示、クールビズ・ウォームビズによるエアコン使用期間削減
	照明の使用時以外の消灯、昼休みの消灯、ブラインド・カーテンの効率的な活用
	ガソリン アイドリングストップの励行、効率的な走行ルート(走行距離のムダ削減)
	軽油 社用車に不要な荷物を乗せない、同一目的地への相乗り乗車
	灯油 クールビズ・ウォームビズで灯油の使用を控える
廃棄物	ガス 給湯使用時は、極力お湯を溜めて使用
	一般 各自治体・地域にあった適切な方法で排出、極力リサイクルされるように分別 廃棄物量の削減に努める
	産業 廃棄物置場の適切な表示と分別、定期的(3ヶ月以内)な計画排出の維持 マニフェスト管理と適正な分別収集
水排出	水道蛇口付近に節水表示にて注意喚起
	農業機械を預かる際は、極力現場で土・泥を落とし洗車時の水使用を控える
ChCNAV アイガモポの 普及拡大	地域性を重視し各支社の目標台数を決定し、需要客への積極的なアプローチによる販売強化
	大規模農家を中心に実演の強化
	情報提供の拡大(WEBの活用等)

編集後記

2024年度の「環境経営レポート」は、以上のとおりです。

今年も無事「環境経営レポート」を発行することができたのは、本社、営業部、営業所の環境推進者及び各担当者のお力添えによるものです。この場をお借りして感謝申し上げます。

また、お客様はじめ当社に関わる多くの方々に、ご高覧頂ければ幸甚でございます。

今後とも当社をよろしくお願い申し上げます。

株式会社ISEKI Japan 九州カンパニー 本社管理部
ありがとうございました。